



市販の点鼻薬の 使い方について



今年はスギ・ヒノキ花粉の飛散がかなり多く、花粉症の症状が強かった方も多かったのではないのでしょうか。

花粉症も含めて、アレルギー性鼻炎の治療は、内服薬、点鼻薬、点眼薬が中心となります。最近は市販のお薬にも内服薬、点鼻薬とも多くの種類が出てきていますが、点鼻薬には使い方には注意が必要なものがありますので、ご紹介したいと思います。

点鼻薬に含まれる成分には、主に①抗ヒスタミン；鼻汁の分泌を抑える②ステロイド；鼻粘膜の炎症を抑える③血管収縮剤；粘膜の血管を収縮させて粘膜の腫れを抑えることで鼻の通りを良くする、といった

たかの耳鼻咽喉科
高野 篤 先生



ものがありますが、血管収縮剤が含まれている点鼻薬の使い方には注意が必要です。

血管収縮剤には、ナファゾリン、テトラヒドロゾリン、オキシメタゾリンというのがあります、これらが含まれている点鼻薬は速効性があり、とくに鼻づまりに有効なのですが、長期に連用すると効かなくなり、逆に粘膜の肥厚が永続的に残ってしまう、肥厚性鼻炎を起こすことがあり、場合によっては手術（肥厚した鼻粘膜や粘膜の内側の骨を削るような手術）しか治療の方法がない状態になることもありますので、鼻づまりがひどいときだけ使うような工夫が必要です。



図書館・健康センター複合施設 ホンテラッセ長与 通信 Vol.6



ホンテラッセ長与
honterrasse nagayo



整備事業詳細

問 政策企画課新図書館等建設係 ☎801-5661

起工式が行われました！

5月7日、ホンテラッセ長与建設地において施工業者の主催で開催され、町長、町議会議員、県議会議員、北陽台自治会関係者、工事関係者等40人が参列しました。

起工式では、神主による修祓や地鎮の儀などの神事が行われ、工事の安全が祈願されました。

吉田町長は、建築主挨拶において「新しい図書館と健康センターは、町民の念願。多くの方々が訪れるような場所になってほしい。」と期待を述べました。

建設工事は、令和8年10月の竣工を予定しています。

